

広報

やまと

1 月号
2026 No. 303



表紙 二十歳のつどいの参加者

02-03 年始のご挨拶、二十歳おめでとう

04-05 特集 中学生を再び台湾へ

06-09 シマの話題

10-11 越後先生のしま診療だより、ほか

12-16 お知らせ、大和村長のフォトダイアリー、ほか

年始のご挨拶



村民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

村民の皆様には、輝かしい令和8年の新春をご家族おそろいでお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は国内において、岩手県大船渡市での大規模な山林火災の発生や、野生の熊による被害が相次ぐ中、東北地方を中心に地震の発生など、自然災害の恐ろしさを痛感した一年であったと思います。

こういったなか、4月には158の国・地域が参加した「大阪・関西万博」が開幕し、世界のアイデアが未来共創に繋がる一助となり、ここ日本から発信されたことは、喜ばしい出来事となりました。

本村におきましては「アマミノクロウサギミュージアムくるぐる」のオープンにより多くの方々にご来村頂いていることは、本村の魅力が発信されていると思います。

さて、今年の村政の基本方針について申し上げます。

行財政改革の推進

必要最小限の事業執行と、補助率の高い補助事業導入を基本に、適正な予算執行による健全財政の確立と併せ、会計年度任用職員を含む職員の適正配置と、デジタル化の推進に努めて参ります。

農林水産業の独自の価値を活かした

地産地消・地産外商の推進

農林水産物の安定生産及び、実証農園の充実に努め「合同会社ひらとみ」や「まほろば館」、「いしよむん館」を活用した加工品の商品開発と販売促進に努めて参ります。

高等教育機関との連携による

関係人口の創出と定住促進対策

高等教育機関等の学術的調査研究を幅広く受け入れ、関係人口の創出を図る事と併せ、人口減少対策として、定住促進を推進するうえで必要となる住宅の確保に取り組みます。

官民連携による観光振興と自然保護の推進

「奄美温泉大和ハナハナビーチリゾート」や「アマミノクロウサギミュージアムくるぐる」を、観光拠点施設として位置づけ、観光振興や自然保護の推進に努めて参ります。

福祉政策と教育環境の充実した

村づくりの推進

村民が生きがいのある生活を送るために高齢者支援を進めるほか、子育て支援の充実を図るとともに「認定こども園整備に向けての検討」を進め、併せて教育環境の整備を進めて参ります。

その他、「道路交通網、生活環境の整備促進」、「防災力向上と関係団体の連携強化による安全安心な村づくりの推進」の合計7つの基本方針を推進し、村民と共に明るく心豊かな「まほろば大和」の創造に取り組むことで、「村民が主役・小さくとも光輝き続ける村づくり」の実現に邁進して参りたいと思います。

そして今年は、関係企業・各種団体と連携を図りながら、自然をいかした奄美大島の西側観光ルートを構築し、世界自然遺産登録地を有する本村の基本理念である「自然と共生し、安全・安心な住みよい村づくり」の実現に向けて新たな気持ちで取り組んで参ります。以上のこと等に、全職員一丸となつて、全力を尽くして参る所存でありますので、村民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新春にあたり、村民の皆様方の限らないご多幸と、益々のご健勝をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

大和村長 伊集院 幼



後列左から

中島 心那 (大棚)
稲元 音遊 (大和)
前田 和香 (大棚)
古謝 ひなた (大和)
屋井 姫詩 (大和)
池田 葉音 (大和)

林 琉音 (大和) 重田 俊輔 (名音)

奥田 寛太 (大棚) 出見 優斗 (大和)

祝 二十歳おめでとう

令和8年1月4日(日)に「大和村二十歳のつどい」を開催しました。人生の大きな節目となる二十歳。未来への希望を胸に歩み始める若者たちの晴れやかな笑顔と温かな祝福に会場は包まれました。今年の対象者は15名で、そのうち10名が出席しました。旧友や恩師との再会を喜び合う姿が、会場のあちこちで見られました。

自己紹介では、親への感謝、大和村への思い、現在勉強していること、今後の抱負などを思い思いに語ってくれました。

出席者代表は大和村の消防士として活躍中の奥田寛太さん。謝辞の中で、20年間を振り返り、消防士として頑張ることを支えてくれた家族や地域の方々への感謝を語り、「私たちにできることは小さな事かもしれないが、島を盛り上げていき、一度は島を出た人々が帰ってこられる環境を作りたい。それぞれ進路は違うけれど、大和村に貢献できる一員となることを誓います」と決意を新たにしました。

二十歳を迎えたみなさまのこれからの活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。



中学生を再び台湾へ

令和7年11月22日～26日、本村事業として2回目となる国際交流事業を実施しました。本事業は、大和村の子どもたちを海外に派遣することで、外国の文化、歴史、風土などを学ぶとともに、現地での交流体験を通じて相互理解を深め、コミュニケーション能力の向上や国際感覚を育むことを目的に、隔年で実施しています。令和5年度に引き続き、現地の中学生との交流は、姉妹校の台北市立建成国民中学校に受け入れていただきました。

台湾での本研修に先立ち、大和中学校と連携して行った事前研修では、外部講師を招き、台湾の料理作り体験、簡単な中国語の学習などを通して、台湾への理解と親しみを深めました。

本研修には、2年生9名、3年生5名に加え、大和中の先生3名が参加し、現地での学びをサポートいただきました。市内の自主研修や博物館などの見学を行い、現地の文化や生活を体感する貴重な機会となりました。

建成国民中学校との交流では、英語で大和村と大和中学校を紹介したほか、台湾の生徒たちと授業や昼食を通じて交流し親睦を深めました。

本研修スケジュール

12月22日出発式、移動日、龍山寺を見学
23日故宮博物院、原住民博物館、十分、九份を見学
24日迪化街で自主研修、市内見学（台北101等）
25日建成国民中学校にて交流、移動日
26日移動日、解散式



台湾の中学生と交流授業を終えて



英語で大和村を紹介



台湾の生徒と先生と記念撮影



101 階建て約 508 mの台北 101



願い事を書いたランタンを空へ



龍山寺で参拝



初めての食べ物にも挑戦



新旧の文化が融合する街で自主研修



派遣生の声 ～様々な気づき・学び・挑戦～

「日本での当たり前は、外国では違うこともある」、「これからもっと英語を勉強して海外に行って、多くの人と交流したい」、「言語が違っても友達になれる」、「日本と台湾の良さはそれぞれ違っていても、どちらも素晴らしい」、「文化の違いを目で確かめることの楽しさを感じた」、「台湾のことをもっと知りたい」、「英語力が必要だと実感した」、「慣れないこともあるけど、楽しみ、学びがあった」、「レストランでお店の人と中国語でやり取りができた!」、「念願だったタピオカミルクティーを一人で買うことができた!」

屏東県内埔郷と 友好交流協定を締結

11月21日、伊集院村長が台湾南部・屏東県内埔郷を訪れ、大和村として初めてとなる海外自治体との友好協定を締結しました。内埔郷役場で行われた締結式では、鍾慶鎮郷長と伊集院村長が協定書に署名し、教育・文化・観光・農業など多分野での相互の交流促進を確認しました。今後の交流により地域全体の活性化を目指します。

屏東県内埔郷

総面積 81.9km²、23の村で構成され人口約 5万2千人、約2万1世帯。民族構成は、客家や閩南、排湾族などがあり、多文化が共存する地域として知られている。パイナップル、マンゴー、カカオ豆などの生産が盛ん。





体を動かしリフレッシュ

12月14日、第21回奄美県体記念グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。生涯スポーツの振興・競技力の向上と村外グラウンド・ゴルフ愛好者と大和村民との交流を兼ねて開催しております。全25チームが参加し、和気あいあいと競技を楽しむ姿が見られました。グラウンド・ゴルフは、ルールが簡単で誰でも気軽にできるスポーツで、屋外で体を動かすことで心身のリフレッシュ効果も期待できます。楽しみながら健康づくりに取り組みませんか？



骨の健康を守る予防教室

12月8日、NPO法人喜界島サンゴ礁科学研究所と保健福祉課の共催で、骨粗鬆症予防教室を開催しました。教室では、骨を強く保つためにカルシウムに加え、ビタミンDやたんぱく質をバランスよく摂取することの大切さや、骨折予防につながる運動について講話がありました。参加者からは「参考になった」との声が聞かれました。

令和8年度の総合健診（6月実施）では骨粗鬆症検診も受診できますので、ぜひご活用ください。



防災フェア大盛況

11月9日、消防・防災フェアをアミノクロウサギミュージアム QuruGuru 前広場で開催しました。2025年度秋の火災予防運動週間に合わせて実施したもので、大和消防分駐所による開催は初の試み。会場には、消防車両の展示や水消火器体験コーナー、救助訓練披露などが行われ、家族連れを中心に約300人が来場。子どもたちは消防車を間近で見たり、体験コーナーに参加したりと、会場は終始にぎわいを見せていました。今後も、地域全体で防災意識を高めていきましょう。



大賑わいのおさかな祭り

11月9日、奄美漁協大和支所前にて、まほろばやまと漁業集落（代表 森 忠夫）主催の第4回おさかな祭りが開催されました。魚食普及を推進し、水産業の振興と地域経済の活性化を目的として開催されています。

当日は魚介類やエビ汁・カニ汁などの販売や子ども達の魚の掴み取り体験に加えて、今年はお楽しみ抽選会も実施されていました。村内外から訪れた多くの来場者は、魚食の魅力に触れながら、おさかな祭りを楽しんでいました。



協力して共存目指す

12月17日、麻布大学 生命・環境科学部と大和村との包括連携に関する協定が締結されました。この協定は、麻布大学の野外教育拠点であるフィールドワークセンターを活用し、大和村における野生生物に関する研究の推進を通じて、人と動物との共存及び自然環境との調和を探究し、地域社会の持続的発展に寄与するため相互に協力することを目的として締結しました。アミノクロウサギによる農業被害の低減も期待されます。



梅畑茂和さんに受章伝達

梅畑茂和さんが旭日単光章を受章されました。12月15日に開催された伝達式で、伊集院村長から代理で出席された息子の覚さんに伝達されました。梅畑さんは、平成16年に大和村議会議員に初当選以来、12年間にわたり議会活動に尽力されました。また、昭和43年から29年間、大和村職員として村政に携わり、退職後は大和浜区長を務められるなど、長年にわたり、住民福祉の向上や地域の発展に大きく寄与されてきました。誠にありがとうございます。



ウガンダってどんな国？

11月16日、大和村国際理解講座「ウガンダの動物と文化を感じよう」を大和村防災センターで開催しました。来島したウガンダ野生生物保全教育センターの職員と中部大学の准教授が登壇し、ウガンダの自然環境や野生生物保護の取組、文化について講話を行いました。同センターにおけるヨウム（インコの仲間）の密猟対策や保全活動についても紹介されました。会場にはウガンダのお茶などが用意され、参加者は現地の味を楽しみながら、同国の自然と文化に触れる機会となりました。



懐かしいお月待ち実演

11月15日、第4回長田須磨シンポジウム（奄美文化継承プロジェクト、大和村共催）が大和村防災センターで開催されました。大和浜出身で民俗研究に従事した長田須磨さんの業績を基に奄美文化の継承を目指す取組。今回は、「奄美の女性と食文化」をテーマに、NPO法人奄美食育食文化プロジェクト代表の久留ひろみさんが講演を行いました。食文化のひとつとしてお月待ち（ウズイキマチ）の実演と大和中学校の1年生も参加して調理した月見団子の振舞いも行われました。



車両を用いた啓発開始

12月26日、奄美地区郵便局長会からアマミノクロウサギのロードキル防止を目的とした車両用マグネットを贈呈いただきました。これは九州郵便局長協会の地域貢献施策の取組の一環で、過去には湯湾岳の貴重な動植物を守る取り組みとして自動撮影カメラを寄贈いただきました。今回は、ロードキル防止のための「かもしれない運転」を周知するためのマグネットで、奄美本島内の郵便車両や大和村の公用車等に貼りつけて注意喚起や周知活動に連携して取組めます。



ひらとみ朝市にぎわう

12月26日、思勝港緑地広場にて第32回ひらとみ朝市を開催しました。会場には、正月飾りや福元だいこんなどの農産物が並び、今年も販売開始前から多くの来場者が訪れました。今年の福元だいこんは豊作に恵まれ、用意した約400本のだいこんは、次々と来場者に買い求められました。

地域の年末の風物詩として親しまれているひらとみ朝市は、今回も大盛況のうちに終了しました。ご来場いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

写真提供：南海日日新聞社



全国に先駆け現金給付

12月21日、各集落の公民館において物価高騰の対策として、村民1人につき現金2万円の給付を行いました。同月16日に国の補正予算が成立した物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用するもの。年末年始を迎える前に給付することで、生活負担を軽減する目的で全国に先駆けて給付しました。

なお、給付申請は3月31日まで受け付けています。まだ受け取られていない方は、期限内に申請をお願いします。



くるぐる基金へ寄附

12月20日、アマミノクロウサギミュージアム Quru Guru におけるクロウサギの保護研究に充てられる「くるぐる基金」に寄付金の贈呈がありました。寄付者は、「紬レザーかすり」の川畑裕徳さんで、自身が販売する商品の販売益の一部を自然保護や伝統文化継承に寄付する取組の一環です。「野生生物保全キーホルダー」の売り上げの一部をご寄附いただきました。伊集院村長から感謝状を手渡し「お心づかいに感謝します。大切に活用させていただきます。」と感謝を述べました。

出初式で地域の安全願う

1月11日（日）、大和村消防出初式が開催されました。村民の安心・安全を祈願し、消防関係者の1年間の安全、士気高揚を図るため毎年開催されています。当日は消防団員による行進、消防訓練、一斉放水、表彰式が執り行われました。冬季は空気が乾燥し、火災が発生しやすい時期です。一人ひとりが火の取り扱いに十分注意し、火災予防に努めましょう。

表彰された方々は以下の通りです。

【県知事表彰】

勤続章 第2分団 団員 中山 一三さん
勤続章 第2分団 団員 中井 昭仁さん
勤続章 第2分団 団員 民 幸和さん
功績章 第4分団 分団長 戸内 菊治さん
精績章 第3分団 分団長 杉島 勇さん

【大島支部長表彰】

功績章 第2分団 副分団長 納 孝行さん
勤続章 第1分団 副分団長 村上 京助さん



やりがい笑顔につながる

「やまとつながるごはん」を冬休み期間中に実施しました。本事業は、児童生徒の長期休業中における孤食を防ぎ、地域のつながりを育むことを目的に、無償で昼食を提供するもので今年度は夏休みと冬休みに計14回実施しました。この日も子どもたちがおかわりをしながら、笑顔で食事を楽しむ姿が見られました。

本事業を支えたのは、24人のボランティア調理員の皆さん。当初から参加された吉本美幸さんは、「調理員みんなで子どもたちが喜びそうなメニューを考える時間も楽しく、何より子どもたちが笑顔で食べてくれるのがうれしかった。次回もぜひ参加したい」と話します。また、重野弘乃さんは、「家庭や子どもたちの助けになるだけでなく、シルバー世代にとっても生きがいにつながる取り組み。少しでも力になればうれしい」とやりがいを語ってくれました。参加してくれた皆さん、ありがとうございました！





大和村民の元気のために
保健福祉課から元気情報を
毎号お届けします！

生活習慣病予防の鍵と「見える化」

私たちの毎日の選択は、気づかぬうちに将来の健康を形づくっています。生活習慣病とは、食事や運動、休養、喫煙、飲酒といった日々の生活習慣が深く関わって発症・進行する病気の総称です。がんや脳梗塞、心筋梗塞、糖尿病、肝硬変など、その範囲は広く、大人だけでなく子どもにも起こり得る身近な問題です。

予防の鍵は、特別なことではなく、生活習慣を整えることにあります。その指針として知られるのが「一無・二少・三多」。たばこを吸わない「無煙」、腹八分目と適量飲酒の「少食・少酒」、そしてよく動き、よく休み、人や物事と多く関わる「多動・多休・多接」です。

とはいえ、当たり前になった習慣を変えるのは簡単ではありません。多くの人にとっての転機は、家族や知人の病気、自身の体調不良、加齢による

衰えの実感、そして健康診断や人間ドックの結果を目の当たりにしたときに訪れます。結果を知ることが怖れがちですが、体の状態を「見える化」することで、自覚症状のない段階で異変に気づき、早期治療や生活改善につながります。早期発見が治癒率を高める病気も少なくありません。生活習慣病予防の鍵と「見える化」を大切に、健やかな人生を歩んでいきましょう。



新年のご挨拶

文 / 医師 越後 整

新年あけましておめでとうございます。

村民の皆さまにおかれましては、穏やかな新年を迎えられたことと存じます。日頃より大和診療所の診療にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

診療所は、病気を治療する場所であると同時に、日々の暮らしの中で生じる小さな不安や心配事を、気軽に相談できる場所でありたいと考えております。「この程度で受診してよいのだろうか」と迷われることもあるかと思いますが、そうした時こそ、遠慮なくお越しいただければと思います。

救急対応を含め、村の皆さまが安心して生活を続けられるよう、医療の面から支えることが私たちの役割です。診療所の職員一同、顔の見える医

療を大切にしながら、一人ひとりに寄り添った対応を心がけてまいります。

本年も、村民の皆さまが少しでも安心して毎日を過ごせるよう、日々の診療はもちろん、健康づくりや予防の視点も大切にしながら取り組んでまいります。体調のこと、健康のこと、どんな小さなことでも構いませんので、どうぞお気軽にご相談ください。

本年が、皆さまにとって健やかで、笑顔の多い一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



クロウサギとあなたと歩む



くるぐるの道

クロウサギ身体能力試験に取組んでいます

アミノノクロウサギは様々な保護の取組みにより生息数が回復しています。一方でロードキル(交通事故)や農作物被害などの新たな問題も出てきています。特に令和7年のロードキル件数は過去最多。1年間で156頭ものクロウサギが交通事故により命を落としました。

これらの問題解決には、クロウサギがどんな動物なのかを知ることが大切です。どのくらいの身体能力を持ち、視覚や嗅覚などの感覚を使って世界をどのように感じているのかを知り、クロウサギの目線になって対策を行うことが問題解決の近道になります。

そこで、くるぐるでは飼育している個体に協力してもらい、クロウサギの知られざる能力を明らかにするための試験を始めました。

第一弾として、飼育場に設置した防獣ネットに

インスタ



HP



アミノノクロウサギミュージアム Quru Guru
の取組等を紹介していきます。

対してクロウサギがどうアプローチするのかを調べています。高さ40cmのネットだと、クロウサギは助走無しで軽々と飛び越えますが、50cmでは、飛び越えるだけでなくネット下の隙間をくぐる、ネットを噛み切るといった行動が観察されました。障害物の高さや状況により突破方法を臨機応変に変化させる、クロウサギの能力が垣間見えた瞬間でした。

問題解決に向けた試験は始まったばかり。ロードキルや農作物被害対策に活かせるよう、これからも取組みを地道に進めていきます。



今年も「まるごと満喫キャンペーン」大人気！

文／三田もも子

冬のオフシーズンに、村内の観光事業者を支援する目的で開催されているこのキャンペーン。宿泊代5,000円、体験4,000円、飲食1,000円がそれぞれ割引になり全部使うと最大10,000円割引になるもので毎年500人あまりの方にご利用いただいています。今年は早々に売り切れるのを避けるために予約開始の日を2回に分けましたが、両日ともに即日完売となる驚きの結果でした。

今回はじめて、宿泊を伴う必要をなくして、体験や飲食のみでも参加可能となりました。申込者の傾向としては、島内のリピーターの割合が90%以上と高くなり、体験と飲食が増えました。

大和村は小さな村で観光事業者も多くはないですが、それでも旅行先として良い物をたくさん持っていると思います。

島内の方が大和村を良い訪問先として認知してくれるようになったら嬉しいです。

今回の結果を受けて、来年以降をどうしていくか協議会の中でも話し合い、お客さんと観光事業者の双方にとって良い方法を探っていきたいと思います。



大和村集落まるごと体験協議会の活動レポート
は本ーゆっくりできる
インゲスティーの村をめざして



●海上保安庁より 【海上保安庁職員募集案内】

1. 海上保安学校学生採用試験（特別）（2026 年 10 月採用）
- (1) 受付期間 令和8年3月2日（月）～3月23日（月） ※インターネット受付
- (2) 試験日 第1次試験日 : 令和8年5月10日（日）
第2次試験日 : 令和8年6月3日（水）～6月24日（水）
最終合格発表日: 令和8年7月24日（金）
- (3) 受験資格
ア 2026 年 4 月 1 日において高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して 13 年を経過して
いない者及び 2026 年 9 月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者
イ 人事院がアに掲げる者と同等の資格があると認める者
2. 海上保安官採用試験（2027 年 4 月採用）
- (1) 受付期間 令和8年2月19日（木）～3月23日（月） ※インターネット受付 海上保安官採用サイト↓
- (2) 試験日 第1次試験日 : 令和8年5月24日（日）
第2次試験日 : 令和8年7月7日（火）～7月14日（火）
最終合格発表日: 令和8年8月12日（水）
- (3) 受験資格
1996（平成8年）4月2日以降生まれの者で、大学（短期大学を除く。以下同じ。）を卒業した者及び 2027 年
（令和9年）3月までに大学を卒業する見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者。
※試験の詳細は、第十管区海上保安本部総務部人事課（☎ 099-250-9800）にお問い合わせいただくか、
人事院ホームページ「国家公務員試験採用情報 NAVI」をご覧ください。
- ◆問合せ先 第十管区海上保安本部総務部人事課 電話 099-250-9800

●保健福祉課より

【令和8年度の健（検）診のお知らせ】

- 4月25日（土）開催
女性がん検診
（乳がん・子宮頸がん・骨粗鬆症検診）
- 6月27日（土）～29日（月）開催
複合健診（特定健診・長寿健診・がん検診）

※対象者には別途お知らせを郵送予定です。

●産業振興課より

【第8弾大和村地域商品券のお知らせ】

- 公民館等での配布日に受け取ることができなかった方は、産業振興課で受け取りをお願いします。
- ※代理での受け取りも可能です。被代理人及び代理人の印鑑をご持参ください。
※令和7年12月16日に住民登録のある方が対象です。
- 役場へお越しの際には、事前にご連絡ください。
【産業振興課 電話 0997-57-2153】

毎週火曜日・木曜日はバスで温泉へ！ ハナハナ行きバスも運行中！

- 火曜日午前 ハナハナ滞在 9:49～12:30
国直 9:30 → 湯湾釜 9:32 → 津名久 9:35 → 思勝 9:36 → 大和浜 9:37 → まほろば館 9:42 → ハナハナ 9:49
ハナハナ 12:30 → まほろば館 12:37 → 大和浜 12:42 → 思勝 12:43 → 津名久 12:44 → 湯湾釜 12:47 → 国直 12:49
- 火曜日午後 ハナハナ滞在 13:55～15:50
今里 13:25 → 志戸勘 13:27 → 名音 13:31 → 戸円 13:36 → 大金久 13:46 → 大棚 13:47 → まほろば館 13:48 → ハナハナ 13:55
ハナハナ 15:50 → まほろば館 15:57 → 大棚 15:58 → 大金久 15:59 → 戸円 16:09 → 名音 16:14 → 志戸勘 16:18 → 今里 16:20
- 木曜日午前 ハナハナ滞在 9:50～12:30
今里 9:20 → 志戸勘 9:22 → 名音 9:26 → 戸円 9:31 → 大金久 9:41 → 大棚 9:42 → まほろば館 9:43 → ハナハナ 9:50
ハナハナ 12:30 → まほろば館 12:37 → 大棚 12:38 → 大金久 12:39 → 戸円 12:49 → 名音 12:54 → 志戸勘 12:58 → 今里 13:00
- 木曜日午後 ハナハナ滞在 13:54～15:50
国直 13:35 → 湯湾釜 13:37 → 津名久 13:40 → 思勝 13:41 → 大和浜 13:42 → まほろば館 13:47 → ハナハナ 13:54
ハナハナ 15:50 → まほろば館 15:57 → 大和浜 16:02 → 思勝 16:03 → 津名久 16:04 → 湯湾釜 16:07 → 国直 16:09

※運行日が祝祭日の場合、運休となります。【問合せ】企画観光課 電話 0997-57-2117

LINE 公式アカウント名：
奄美大島防犯団体連絡協議会

※下の二次元コードを読み
取って、友だち登録してく
ださい。



●奄美警察署より

「奄美あんぜん・あんしん
LINE」を開設しました！」

奄美警察署と奄美大島防犯団体連絡協
議会では、私たちの地域での子供・女性
に対する声掛け事業、不審者事案やう
そ電話詐欺の発生・被害防止などの情
報を「奄美あんぜん・あんしんメール」
としてメールでお送りしていましたが、
LINEでの配信を要望する声にお応
えして、LINE 公式アカウントを開
設いたしました。

友だち登録を行うことで、奄美警察署
管内の情報を受け取ることができます。
^ 配信内容 ^

- ・子供及び女性などへの声掛け・つきま
とい事案
- ・登下校時の子供に危険が生じるおそれ
がある事案
- ・うそ電話詐欺及びSNS型投資・ロマ
ンス詐欺被害防止情報など

ごなたでも登録できます！
ぜひ、登録をして、犯罪被害に遭わな
いように情報を活用してください。

「確定申告書等作成コーナー」
はこちら↓



●住民税務課より

「確定申告についてのお知らせ」

令和7年分の確定申告は、ご自身の
マイナンバーカードとスマートフォン
を利用して、ご自宅から申告できる
e-Taxをご利用ください。

国税庁ホームページ「確定申告書等
作成コーナー」では、金額等を入力す
るだけで、自動計算で、申告書の作成・
e-Tax による送信ができます。

詳しくは、国税庁ホームページ
(<https://www.nta.go.jp>) をご覧いた
だくか、国税相談専用ダイヤルや最寄
りの税務署にお尋ねください。

□問合せ先
国税相談専用ダイヤル
電話 0570・00・5901
大島税務署
電話 0997・52・4321
※自動音声案内

●大島支庁より

「県営住宅に入居を
希望される方へ」

県営住宅の入居については、抽選によ
り空き家待ち順位を決定しています。
令和8年4月以降の入居を希望される
方は、下記により申込み手続を行って
ください。

なお、現在申込みされている方も、新
たに申込み手続を行う必要があります。

○対象となる住宅
奄美市、龍郷町及び瀬戸内町にある県営
住宅

○申込書の配布・受付期間
令和8年2月2日（月）～2月27日（金）
午前9時～午後5時※土日・祝日を除く

○抽選日時
令和8年3月4日（水） 午後2時から

○申込書配布・問合せ先
（奄美市・龍郷町にある県営住宅）
鹿児島県大島支庁建設部建設課管理係
電話 0997・57・7332
（瀬戸内町にある県営住宅）
鹿児島県大島支庁瀬戸内事務所総務課総
務係
電話 0997・72・2111
内線 111

医療従事者をめざす方へ

奨学金制度のご案内

貸与期間に応じた期間勤務すると返済免除となるメリットがあり、
修学途中で受けることができます。
奨学金についてのご相談は、下記または
ホームページお問合せよりご連絡ください。

お問合せはこちらまで↓

〒894-0061 鹿児島県奄美市 名瀬朝日町28-1

0997-54-2222 担当：総務課

奨学金貸与限度額（年間：最大額）

年間 120 万円（看護師・薬剤師）

年間 60 万円（その他職種）

対象職種

- 看護師
- 理学療法士
- 言語聴覚士
- 臨床工学士
- 薬剤師
- 作業療法士
- 管理栄養士
- 臨床検査技師

奨学金の詳細は→



むらた ふく
村田 福空さん

父 丈尚さん
母 綾子さん(国直)

保護者からのコメント

「兄ちゃん姉ちゃんに負けないように
日に日に強くなってきましたね！
身も心もふくふくに育ってね♡」



むらた ちさき
村田 茅咲さん

父 靖明さん
母 聖奈さん(津名久)

保護者からのコメント

「これからもニコニコ笑顔で、周りに幸せをた
くさん咲かせてね♡
生まれてきてくれてありがとう。」



こせきの窓

人口 1353 人 (△ 31)
男 703 人 (△ 9)
女 650 人 (△ 22)
世帯 821 世帯 (△ 11)
12 月 31 日現在
(前年同月比)



ふくやま
福山 ことりさん

父 良平さん
母 恵理香さん(名音)

保護者からのコメント

「その笑顔で周りの人を幸せにして、
元気に大きくなってね」

丸山勝義様(鹿児島市)
池畑望東久様(奄美市)
山田淳子様(東京都)
関幸蔵様(鹿児島県)

広報誌送付謝礼 ありがとうございます

仁島朱美子様(故仁島降一様)
東條初美様(故東條幸子様)
武原正人様(故武原アイ子様)
伊集院満様(故伊集院ア牛代様)
永田和江様(故永田優治様)
富美恵子様(故富照次様)

香典返し(社会福祉協議会へ)

富照次様(69歳・津名久)
伊集院ア牛代様(94歳・津名久)
平良サダ子様(89歳・名音)
永田優治様(68歳・戸田)
武原アイ子様(98歳・津名久)
里原ユキ様(88歳・名音)
上原実様(61歳・湯湾金)
行田力キユ様(87歳・名音)
東條サチコ様(95歳・戸田)
朝山信子様(95歳・戸田)

お悔やみ申し上げます

柳山きよらさん
(保護者 光・海美・大樹)
藤村紫陽さん
(保護者 雄樹・真実・大樹)

お誕生おめでとう おめでとうございます

押谷邦彦様(愛知県)
千木良淳様(東京都)
福山成美様(埼玉県)
有田初男様(沖縄県)
村山美都様(東京都)
南郷毅様(広島県)
藤本勝様(神奈川県)
三浦理恵様(愛知県)
三笠弘子様(大阪府)
松本祥平様(兵庫県)
松本文哉様(兵庫県)
山崎陽平様(徳島県)
武成実様(徳之島町)
前里佐喜一郎様(奄美市)
前里ミカ子様(奄美市)
海東次郎様(神奈川県)
圓山節子様(東京都)
石松悠斗様(東京都)
藏満結花様(鹿児島市)
江浪まつみ様(兵庫県)
久野哲弥様(茨城県)
諏訪博様(東京都)
堀井勇司様(東京都)
前里文司様(大阪府)
池本真大様(東京都)
若林靖史様(茨城県)
掲載を希望されない
寄附者様196名

ふるさと納税 ありがとうございます

写真と共に村長の活動を
報告いたします。

大和村長のフォトダイアリー

11月29日、昨年から再開された神奈川県
大和市の物産販売イベント「うまいもの市」
に参加しました。これは、大和市と交流のあ
る自治体や全国の県人会が出展し、地域の特
産品の販売やPRを行うもので、毎年多くの
来場者でにぎわっています。

今年は、すももやたんかんの加工品のほか、
黒糖焼酎開饒とすもも酒を販売しました。試
食や試飲も用意したことで、より多くの方に大和村の特産品を味わっていただく
ことができました。

これまでも大和市において、たんかんの販売や特産品のPRに取り組んできました
が、コロナ禍によりイベントが開催できない期間が続いていました。そうした
中でも、今年は多くの方に大和村のブースを訪れていただきました。今後も交流
自治体との連携を図りながら、引き続き取り組みを進めてまいります。



YouTubeで
動画公開中！



ムンバカデ。



くるぐるでは
カフェのみの
ご利用も大歓迎！

コーヒー 350円～
ベーグルサンド2種 550円～

広報やまとラジオ便

リッスントゥーミーひとみ

あまみ FM ディ！ウェイブ 月～土曜日 9:00 / 14:30
感想・ご意見お待ちしております！

神奈川県大和市の FM YAMATO

「大和村の教えてシマッチュ！」

毎月最終土曜日 11:20～11:30 (再放送は翌水曜日の7:15～)
奄美では JCBA インターネットサイマルラジオで聞くことができます。



アミノクロウサギ事故件数
156 件
不明・その他 61 件

2026 年 1 月 9 日現在

緊急事態

2025 年の交通事故は
過去最多！
2026 年も気を付けて！

ケガをしているアミノクロウサギや
死体を見つけたらお電話ください！

奄美野生生物保護センター
電話 0997-55-8620



ミカンコミバエ セグロウリミバエ

にご注意ください

これらは、東アジアなど海外から飛来し、農作物に被害を与える昆虫です。

生産者や家庭菜園をお持ちの方、庭に果樹などをお持ちの方は、これらのハエが果実に卵を産み付け、幼虫が寄生する可能性があります。まん延すると、発生地域の果実は移動制限や廃棄処分になることがあります。

— ミカンコミバエ —



体長約 7mm

カンキツ類、スモモ、マンゴー、パッションフルーツ、カキ、ビワ、トマト、ナスなどに寄生します。熟した果実を好みます。

— セグロウリミバエ —



体長 8～9mm

ニガウリやカボチャ、キュウリ、ヘチマ、冬瓜、などのウリ科全般、トマト、ピーマン、唐辛子、グアバやドラゴンフルーツ、パパイヤなどの果物に寄生します。



発生やまん延を防止するために、下記のこと注意してください

①適切な防除を しましょう

農薬散布など適切な害虫防除・栽培管理をしてください。

(農薬用薬剤については、産業振興課までお問合せください。
使用例：ダントツ水割剤 2000 倍)

②不要な果実を放置 しないでください

落下した果実は、地中に埋めるか、ビニール袋に入れて処分してください。収穫期を迎えた野菜や果物は、収穫遅れのないよう適期収穫をお願いします。

③島内消費に ご協力ください

現在、鹿児島県ではこれら作物の移動は規制されていませんが、可能な限り島内で消費していただくようお願いいたします。

④関係機関へ連絡 してください

寄生が疑われる変色・変形した果実を見つけたら、速やかに関係機関までご連絡ください。

10 月から村内各地でセグロウリミバエ種群の侵入が確認されています。産業振興課では、門司植物防疫所と共に誘引剤と殺虫剤を含ませた木質繊維の板「テックス板」の設置や、ベイト材（殺虫剤＋たん白加水分解物）のスポット散布を行い、再侵入を防いでいます。

お問い合わせ先

門司植物防疫所名瀬支所 0997-52-0459

鹿児島県大島支庁農政普及課特殊病害虫係 0997-52-0299

大和村産業振興課 0997-57-2153



←バーコード読み取り機能付き携帯電話をご利用の方はここから大和村ホームページへ簡単にアクセスできます。それ以外の方は直接 URL を入力してアクセスしてください。
(<http://www.vill.yamato.lg.jp>)

発行・編集 大和村役場企画観光課
〒 894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜 100 番地
TEL 0997-57-2117 FAX 0997-57-2161
mail:kikaku@vill.yamato.lg.jp
<http://www.vill.yamato.lg.jp>